



# 重症心身障害児者施設 つばさ静岡 理学療法士 募集要項

1973年に開設した浜松市北区にある重症心身障害児施設「おおぞらの家」(現在、聖隷福祉事業団に運営移管された「聖隷おおぞら療育センター」)での実績が評価され、「静岡県 重症心身障害児者を守る会」の熱心な要望を受け2005年に静岡市に開設しました。社会福祉法人 小羊学園としては、浜松地区を離れて開設した初めての施設です。医療と介護を必要とする利用者の生活が心豊かになる様、医療・看護・介護・訓練・調理等の専門職が連携して一タークアを行っています。また、地域に根差した施設を意識し在宅支援者の支援事業も提供しています。

## 1. 募集(勤務)施設 小羊学園 つばさ静岡 静岡市葵区城北117

職員数 約140名(内 リハビリ部門 作業療法士3名 理学療法士3名)

- ・ つばさ静岡(医療型児童入所・療養介護)入所63名・短期入所10床
- ・ わたぐも(生活介護事業 =重症心身障害成人通所) 定員20名
- ・ たんぽぽ(放課後等デイサービス=重症心身障害児童通所) 定員5名
- ・ アグネス静岡(指定相談支援事業)

## 2. 業務内容

- ・ 入所者・通所者・外来患者等の重症心身障害をお持ちの方に向けた理学療法
- ・ 運動療法、ポジショニング検討調整、車椅子の選定作成、遊びの提案など多岐にわたります。
- ・ 幅広い視点での支援方法を習得できるお仕事です。
- ・ その他、医療福祉事業、家族支援に関連したイベント・集会の実施

## 3. 設置運営 社会福祉法人 小羊学園 職員総数 約500名

## 4. 応募資格 理学療法士(2022年3月取得見込みを含む若年者)

## 5. 募集人員 1名 (女性を歓迎します。ポジティブアクション)

## 6. 採用条件

- ・ 給与2020年度 実績(単位:円) 社会人の場合は前歴換算有

基本給 四大卒 192,438円(定期昇給有)

基本給 専門学校卒 187,338円(定期昇給有)

資格手当 6,000円

通勤手当 26,000円上限

住居手当 30,000円上限

賞与 年間支給率 4.4カ月月分(6月、12月に支給)

- ・ 公休 年間110日 年次有給休暇 初年度10日

- ・ 福利厚生 社会保険、労働保険加入、退職共済加入、育児、介護休業制度あり

ソウエルクラブ(福利厚生センター)加入

- ・ 勤務時間 1日7.5時間(8:30~17:00)、休憩60分 週40時間以内

## 7. 応募方法

提出書類:履歴書、卒業見込証明書、資格取得(見込)証明書、健康診断書  
随時受付(書類選考あり)

## 8. 連絡・問い合わせ先



〒420-0805 静岡市葵区城北117

社会福祉法人小羊学園 つばさ静岡 求人担当 望月(平日)

TEL054-249-2830 FAX054-249-2831

E-mail [tubasa-szok@wind.tnc.ne.jp](mailto:tubasa-szok@wind.tnc.ne.jp)

HP <https://www.tsubasa-szok.net>

応募に係る個人情報、求人に関連する業務の範囲内で利用されます。  
施設見学 お気軽にお問合せ下さい。



リハビリテーション部門スタッフは理学療法士（PT）3名、作業療法士（OT）3名の計6名です。入所利用者や外来の重症児者を対象に日常の姿勢や食事の評価・提案、呼吸リハをなどの支援を行なっています。

重症児者には自分の思うように体を動かすことが出来ない方が多く、そのため体が固くなったり、側わんなど変形しやすい状況にあります。体を動かすことが一番なのですが、どうしても多くの時間は他人の介助を待っていることとなります。ちょっとした日常の姿勢であっても痛いところがあったり苦しい呼吸では、せっかくの周りの楽しい音楽や会話、季節を感じて楽しむ等とてもできないと思います。そのちょっとした姿勢で日常が楽しいものとなるように提案することを心掛けています。食事においても同じで、食事を落ち着いて安心して摂れることはご本人にはもちろん職員や家族にとってお互い重要なことです。一日3回の食事が不安になれば毎日が苦痛になってしまいます。どんな姿勢でどんな食事ならば食事を楽しめるかをリハビリ視点から提案しています。

呼吸に関してはちょっと違います。日常で呼吸が苦しいという事はどういう事でしょう？水に溺れながら生活する状況、更に体が思うように動かないとなれば…。少しでも呼吸の効率が良くなるように、一時的な排痰だけでなく持続できる姿勢の提案や、その姿勢を施設の現場もしくは在宅でリハ職員が常時居なくても継続できるようにご本人専用クッション作製まで行なっています。

リハビリなど医療の視点だけでは理想論を押し付けてしまいかねません。日々関わる家族や職員が上手く継続出来て、ご本人に少しでも笑顔が見られる毎日となるよう、より具体的で現実的な方法を考え提案していきます。

